

### バンダイこどもアンケートレポート Vol.256

## 「小中学生のお年玉に関する意識調査」結果

TOPIC①: 小中学生がもらったお年玉総額の平均は **25,594 円** で、**前回調査(2018年1月)から 1,170 円増加!** もらったお年玉の封数は平均 **5 封**。親からは約 6 割、祖父母からは約 9 割がもらったと回答。

TOPIC②: 子どもが親からもらったお年玉金額の平均は **5,481 円**。(小学生 4,536 円、中学生 7,160 円)。昨年から増額したという回答が最も多いのは中学 1 年生(45.3%)、次いで小学 3 年生(35.8%)。さらに、約 5 人に 1 人が小学 1 年生からお年玉をもらい始めていることが判明。

TOPIC③: お年玉の「全額」を自由に使える子どもは、**小学生全体で 27.2%**、**中学生全体で 48.0%**。小中学生のお年玉の使い道総合 1 位は、調査開始から 3 回連続で「貯金」に!

総括 : バンダイからのコメント

株式会社バンダイ(本社:東京都台東区、代表取締役社長:川口勝)は、今年の小中学生の「お年玉」事情の実態を探るため、今年お年玉をもらった小学1年生~6年生、中学1年生~3年生の子どもを持つ親\*900人を対象に、「小中学生のお年玉に関する意識調査」を実施しました。調査結果を以下の通り発表いたします。

<実査期間2020年1月6日(月)~8日(水)> ※子どもと一緒に回答できる方

※前回調査実施期間2018年1月5日(金)~1月8日(月)

TOPIC①: 小中学生がもらったお年玉総額の平均は **25,594 円** で、**前回調査(2018年1月)から 1,170 円増加!** もらったお年玉の封数は平均 **5 封**。親からは約 6 割、祖父母からは約 9 割がもらったと回答。

#### 【小中学生のお年玉総額の平均金額】(数値回答 n=900)

	全体	小学1・2年生	小学3・4年生	小学5・6年生	小学生全体	中学生全体
お年玉総額の平均	¥25,594	¥19,400	¥21,136	¥26,991	¥22,509	¥31,765

#### 【小中学生がもらったお年玉の封数およびもらった相手】(数値回答/複数回答 n=900)

もらったお年玉の封数	
平均	5封
お年玉をもらった相手	
祖父母	90.2%
おじ・おば	69.0%
親	60.8%

小中学生が今年もらったお年玉の総額について聞いたところ、全体の平均金額は25,594円となり、前回調査(2018年1月)から1,170円増加しました。(前回データは4頁参考①を参照)学年別で見ると、学年が上がるにつれて金額は増加し、小学生全体では22,509円、中学生全体では31,765円と、小学生と中学生では10,000円近い差が見られました。

また、もらったお年玉の封数について聞いたところ、小中学生ともに平均で5封という結果になりました。さらに、「お年玉をもらった相手」については、親からもらったという子どもが約6割、祖父母からもらったという子どもが約9割となり、お年玉をもらっているほとんどの子どもが祖父母からもらっていることがわかりました。

**TOPIC②： 子どもが親からもらったお年玉金額の平均は 5,481 円。(小学生 4,536 円、中学生 7,160 円)。  
 昨年から増額したという回答が最も多いのは中学 1 年生(45.3%)、次いで小学 3 年生(35.8%)。  
 さらに、約 5 人に 1 人が小学 1 年生からお年玉をもらい始めていることが判明。**

**【親からもらったお年玉金額の平均】**(数値回答 n=547) ※子どもにお年玉をあげた人ベース

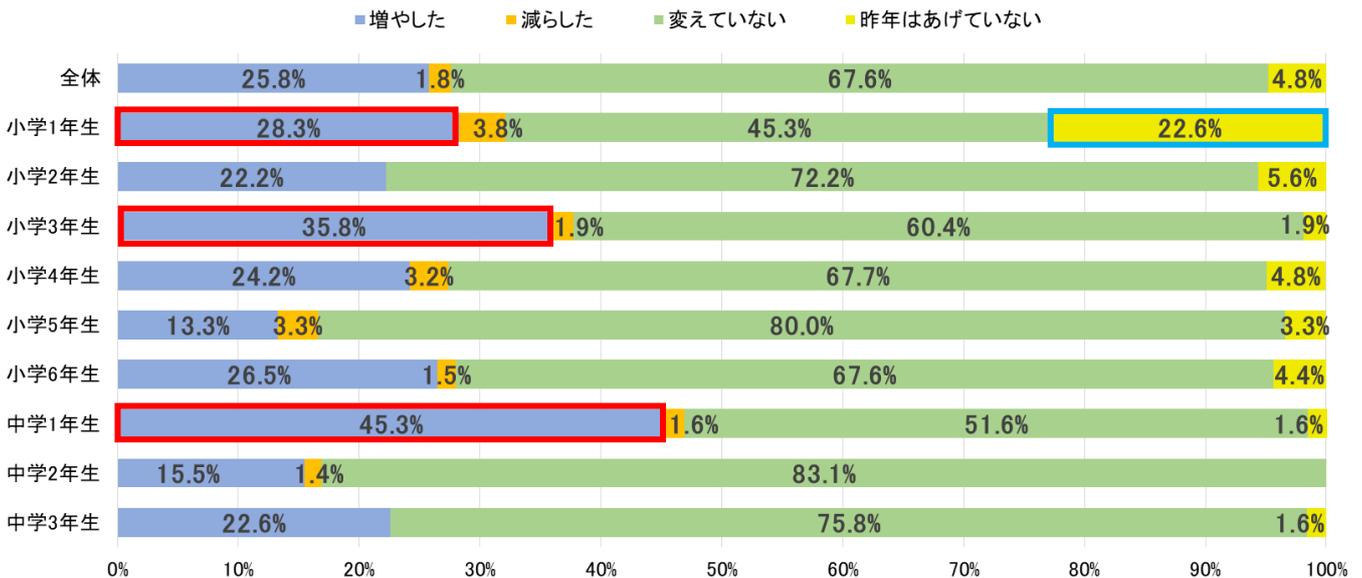
親からもらった平均額	
全体	¥5,481
小学1年生	¥3,772
小学2年生	¥3,148
小学3年生	¥4,462
小学4年生	¥5,419
小学5年生	¥4,858
小学6年生	¥5,201
中学1年生	¥5,898
中学2年生	¥7,944
中学3年生	¥7,565
小学生全体	¥4,536
中学生全体	¥7,160

小中学生が親からもらったお年玉の金額について聞いたところ、全体の平均金額は5,481円でした。学年別の平均金額は小学生全体で4,536円、中学生全体で7,160円という結果になりました。

また、親に「お年玉の金額を昨年から変更するか」について聞いたところ、「昨年から変えていない」という回答が全体の67.6%となりました。また、「増やした」という回答が最も多いのは中学1年生(45.3%)、次いで小学3年生(35.8%)という結果に。金額増減の理由としては「小学校/中学校の間は一律にしている」「低学年のうちと同額でいいと思う」などの声が多く見られ、低学年から高学年になる、あるいは進学するなど比較的大きなタイミングで金額を変更する家庭が多いことが読み取れます。

さらに、小学1年生は「昨年はお年玉をあげていない」という回答が22.6%になったことから、約5人に1人が小学生になるタイミングでお年玉をあげ始めていることがわかりました。

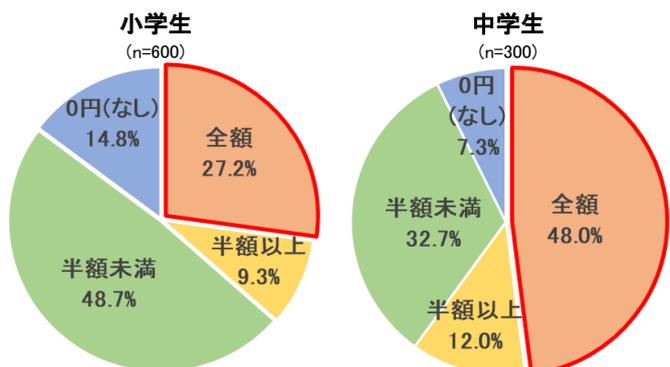
**【昨年度からの金額の増減】**(単一回答 n=547) ※子どもにお年玉をあげた人ベース



**TOPIC③： お年玉のうち「全額」を自由に使える子どもは、小学生全体で 27.2%、中学生全体で 48.0%。  
 小中学生のお年玉の使い道総合 1 位は、調査開始から 3 回連続で「貯金」に！**

**【もらったお年玉のうち自由に使える金額】**(数値回答)

もらったお年玉のうち、子どもが自由に使える金額について聞いたところ、「全額」使えると回答した子どもは小学生全体で27.2%、中学生全体で48.0%となり、全体の約3割弱に留まった小学生に比べ、中学生は半数近くの子どものが、もらったお年玉を全額自由に使えるということがわかりました。一方、自由に使える金額が「0円(なし)」と回答した子どもは、小学生全体で14.8%、中学生全体で7.3%という結果になりました。



【お年玉の使い道】(複数回答 n=740) ※お年玉の使い道が決まっている人ベース

お年玉の使い道 総合TOP10			小学生 TOP5		中学生 TOP5			
1位	貯金	38.8%	1位	貯金	35.5%	1位	貯金	45.2%
2位	ゲーム機・ゲームソフト	24.7%	2位	おもちゃ、カードゲーム(ゲーム機・ゲームソフト除く)	30.7%	2位	お菓子やジュースなどの飲食物	27.0%
3位	おもちゃ、カードゲーム(ゲーム機・ゲームソフト除く)	22.6%	3位	ゲーム機・ゲームソフト	26.2%	3位	文房具、雑貨	23.4%
4位	お菓子やジュースなどの飲食物	21.9%	4位	文房具、雑貨	19.9%	4位	ゲーム機・ゲームソフト	21.8%
5位	文房具、雑貨	21.1%	5位	お菓子やジュースなどの飲食物	19.3%	5位	衣服・衣類雑貨	19.8%
6位	書籍(マンガ以外)	16.8%						
7位	マンガ	14.5%						
8位	衣服・衣類雑貨	10.8%						
9位	ゲームセンターで遊ぶ	10.3%						
10位	映画館で映画を観る	6.5%						

男子 TOP5(小中学生)		女子 TOP5(小中学生)			
1位	貯金	36.3%	1位	貯金	41.2%
2位	ゲーム機・ゲームソフト	35.0%	2位	文房具、雑貨	32.9%
3位	おもちゃ、カードゲーム(ゲーム機・ゲームソフト除く)	25.2%	3位	お菓子やジュースなどの飲食物	26.1%
4位	お菓子やジュースなどの飲食物	17.6%	4位	おもちゃ、カードゲーム(ゲーム機・ゲームソフト除く)	19.9%
5位	マンガ	14.4%	5位	書籍(マンガ以外)	19.7%

また、お年玉の使い道について小中学生に聞いたところ、総合1位は調査開始から3回連続で「貯金」(38.8%)となりました。2位の「ゲーム機・ゲームソフト」(24.7%)は、バンダイこどもアンケートの「今年のクリスマスに関する意識調査(2019年)」でも「子どもが欲しいクリスマスプレゼント」の2位(ゲームソフト)・3位(ゲーム機)にランクインしており、根強い人気うかがえます。次いで3位は「おもちゃ、カードゲーム(ゲーム機・ゲームソフトを除く)」(22.6%)となり、総合TOP3は前回調査(2018年1月)から変動がない結果になりました。学年別で見ても、小中学生ともに1位は「貯金」という結果に。また、小学生は2位「おもちゃ、カードゲーム(ゲーム機・ゲームソフト除く)」(30.7%)、3位「ゲーム機・ゲームソフト」(26.2%)と、遊ぶための玩具などが多い傾向にあります。中学生になると、3位に「文房具、雑貨」(23.4%)、5位に「衣服・衣類雑貨」(19.8%)がランクインするなど、生活用品などに使うようになることが読み取れます。さらに、男女別でも1位はともに「貯金」となり、男子は前回1位の「ゲーム機・ゲームソフト」を抜いて「貯金」が1位にランクインする結果になりました。(前回データは4頁参考②を参照)

【バンダイからのコメント】

小中学生のお年玉事情を探るこの調査は、今回で3回目となります。昨年施行された増税の影響は感じられず、もらったお年玉総額の平均金額は前回調査から1,170円増という結果になりました。また、親に聞いた「子どもにあげるお年玉金額の昨年からの増減」も、「増やした」という回答が全体の25.8%、「変えていない」という回答が全体の67.6%となり、お年玉を減らすという家庭は1.8%と、ほとんどないようでした。

また、「お正月に楽しかったこと・嬉しかったこと」を聞いたところ、1位「お年玉をもらった」(58.0%)、2位「祖父母の家に遊びに行った」(41.6%)、3位「初詣へ行った」(20.7%)で、TOP3は前回と同じ結果になりました。(TOP10は4頁参考③を参照)近年では、スマートフォンの普及などにより、個人でも楽しめる娯楽が増えてきていますが、お正月はやはり「家族・友人などみんなで過ごすもの」という意識があることがうかがえました。

■調査概要

- 【調査目的】 小中学生の「お年玉」事情の実態を探る
- 【調査地域】 全国
- 【対象者条件】 小学1年生～6年生、中学1年生～3年生の子どもを持つ親(25歳～59歳)  
※子どもと一緒に回答できる方
- 【調査手法】 インターネット調査(協力:株式会社クロス・マーケティング)
- 【実査期間】 2020年1月6日(月)～1月8日(水)
- 【サンプル数】 900人
- 【本調査構成】

	小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生
男子	50人								
女子	50人								

【参考①】小中学生がもらったお年玉総額の平均(2018年) (数値回答 n=900)

	全体	小学1～2年生	小学3～4年生	小学5～6年生	小学生全体	中学生全体
お年玉総額の平均 (2018年)	¥24,424	¥19,581	¥21,025	¥23,539	¥21,382	¥30,507

【参考②】小中学生のお年玉の使い道(2018年) (複数回答 n=726 ※お年玉の使い道が決まっている人ベース)

お年玉の使い道 総合TOP10(2018年)		
1位	貯金	37.7%
2位	ゲーム機・ゲームソフト	27.7%
3位	おもちゃ、カードゲーム(ゲーム機・ゲームソフト除く)	21.8%
4位	文房具、雑貨	21.1%
5位	書籍(マンガ以外)	18.7%
6位	お菓子やジュースなどの飲食物	18.6%
7位	マンガ	16.1%
8位	衣服・衣類雑貨	11.8%
9位	ゲームセンターで遊ぶ	11.2%
10位	スポーツ用品	6.5%

【参考③】お正月に楽しかった・嬉しかったこと(複数回答 n=900)

お正月に楽しかった・嬉しかったこと TOP10(2020年)			お正月に楽しかった・嬉しかったこと TOP10(2018年)		
1位	お年玉をもらった	58.0%	1位	お年玉をもらった	56.9%
2位	祖父母の家に遊びに行った	41.6%	2位	祖父母の家に遊びに行った	39.6%
3位	初詣へ行った	20.7%	3位	初詣へ行った	22.7%
4位	お雑煮・おせち料理・豪華な料理を食べた	18.2%	4位	テレビを見た	17.8%
5位	初売り、ショッピング(福袋を含む)へ行った	13.6%	5位	お雑煮・おせち料理・豪華な料理を食べた	17.1%
5位	テレビを見た	13.6%	6位	テレビゲームで遊んだ	13.6%
7位	テレビゲームで遊んだ	11.8%	7位	家族みんなで新年を迎えた	10.3%
8位	家族みんなで新年を迎えた	8.8%	8位	年賀状のやりとりをした	8.9%
9位	年賀状のやりとりをした	7.2%	9位	初売り、ショッピング(福袋の購入除く)へ行った	8.8%
10位	友達と遊んだ	7.1%	10位	ゲーム(ボードゲームなど)で遊んだ	7.7%

子どもアンケート: <https://www.bandai.co.jp/kodomo/>

バンダイ公式サイト: <https://www.bandai.co.jp/>

**次回 バンダイ子どもアンケート  
2月下旬「子どもの宿題に関する意識調査」配信予定**